

循環器内科初期研修カリキュラム
カリキュラム責任者：田口 晴之

<一般目標 GIO: General Instructive Objective>

すべての診療科にとって必要な循環器疾患についての基本的な知識を習得し、臨床経験を通してそれぞれの疾患に対する理解を深める。将来、各専門科に進んだ後も、それらの知識や経験を活かして診療に役立てることができるとを目標とする。

<行動目標 SBO: Structured Behavioral Objective>

1. 患者の病状だけでなく、心理状態、社会的背景にも配慮して行動し、患者やその家族との信頼関係を確立する。
2. 指導医、他の医療従事者などと適切なコミュニケーションを行い、チームの一員として診療を行う。
3. 適切なカルテ記載を行う。
4. 循環器疾患の診断・鑑別に必要な情報を得るため、適切な病歴聴取と、身体所見をとることができる能力を身につける。
5. 特に胸痛や呼吸困難、失神などの症状に対しての鑑別疾患を挙げられ、その鑑別方法を理解し、最終診断できるようにする。
6. 心電図、胸部レントゲンなどの画像検査、血液検査から得られた結果から疾患の診断、鑑別を行い、次に行うべき検査あるいは治療を判断できる能力を身につける。
7. とくに緊急性のある疾患（大動脈乖離、急性冠症候群、心不全、肺塞栓）に対して、迅速かつ適切に判断できる能力を身につける。
8. それぞれの循環器疾患に対する薬物あるいは非薬物による治療法を理解し、その有用性と危険性（副作用）、治療の限界について理解する。
9. 慢性疾患の中では、高血圧、睡眠時無呼吸症候群、脂質異常症などの理解を深め、至適な管理ができるようにする。

<方略 LS: Learning Strategies >

1. 外来や病棟では指導医とのチームで患者の診療に当たり、基本的知識、行うべき検査、検査結果についての理解、診断、治療法について考え、指導医とディスカッションし、診療能力の向上を図る。
2. カルテには、その日に行った診察、検査結果、またそれらに対する考察や今後の治療計

画を記載し、指導医からのチェックを受ける。

3. できるだけ多くの疾患を経験し、疾患に対する知識と理解を深める。
4. それぞれの症例をもとに、心電図、胸部レントゲン、負荷心電図検査、ホルター心電図検査、心臓超音波検査、核医学検査、CT、MRI、心臓カテーテル検査などの検査方法の選択や検査結果から得られる情報や解釈を指導医とともに行う。
5. それぞれの症例をもとに、薬剤あるいは非薬物による治療法の有用性と危険性（副作用）、治療の限界について指導医とともに考え、実践する。
6. 受け持ちの患者は、カンファレンスでプレゼンテーションを行い、適切な治療を行うことができるよう他の上級医などとの意見交換を行う。
7. 緊急性があると思われる患者に対して、指導医や上級医の指導の下、診断のために行うべき検査を選択し、必要な治療を行う。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
8-9 時				心カテカンファレンス		
午前	病棟診察 (心カテ)	病棟診察 心カテ	病棟診察 心カテ	病棟診察 心カテ	病棟診察 (心カテ)	病棟診察
午後	病棟診察 (心カテ)	病棟診察 心カテ	病棟診察 心カテ	病棟診察 心カテ	病棟診察 (心カテ)	病棟診察
夕方	症例・全体 カンファレンス	症例・ チームカンファレンス	症例・カテ カンファレンス	症例 チームカンファレンス	症例・カテ カンファレンス	

<研修評価 EV: Evaluation>

- ・ 自己評価：PG-EPOC を用いて行う。
- ・ 指導医による評価：研修評価票Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを含む PG-EPOC および病歴要約レポート等を用いて評価する。
- ・ 他メディカルスタッフによる評価：研修評価票Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを用いて 360 度評価表等を用いて評価する。